

新庁舎完成！



南国市は、市民の安全・安心を守るために様々な取り組みを行っています。その取り組みの中で、昨年の津波避難タワー完成特集に続き、今回の特集は、新庁舎耐震工事の詳細と内外装改修を取材しました。

竣工から43年を経過した旧庁舎は、老朽化とともに南海トラフ地震への対策が急務となっていました。耐震診断を実施し、旧庁舎は震度5以上には耐えられないとの報告を受け、費用の面、業務に支障が出ないことを考慮し、「外付け耐震ブレース工法」を選定しました。

耐震工事は、V字型の補強ブレース（緑色と黄色のV字）を設置するために、旧庁舎外壁の表面を削り、厚み45cmの鉄筋コンクリートを旧外壁に増設した結果、新庁舎は震度6弱でも倒壊しない構造となりました。停電時の対策も自家発電設備の更新（軽油で最大72時間発電可能）で対応しています。災害時には新庁舎が拠点となり、情報提供や復旧作業が迅速に行われることが望まれます。

人に優しい 快適な正面玄関

耐震工事が完了した南国市庁舎が、装いも新たに変わりました。南国市のマークがくつきりと浮かぶ正面の灰色の壁を囲んで、黄色と緑色の耐震ブレースが、真っ白な庁舎全体に清潔さと爽やかさを加えています。南国市民が安心して訪れることができる新庁舎となりました。

玄関前にゆったりとした車寄せができました。入口左右にはベンチもつくられています。中央に5m×15mの廊（ひさし）をつけたので、送迎の車から雨の日にもぬれずに出入りできます。新庁舎で、来庁者に「まっことよかった！」と喜ばれているのは、この正面玄関です。

明るい市民ホール

総合案内を通ると3階まで吹き抜ける市民ホール。その第一印象は「明るさが際立っている」ということです。

天井、壁を白に統一したことに加え、全照明をLED化したことで、明るく清潔な空間に生まれ変わりました。ATMが屋外に出たことでホールが広くなり、椅子やテーブルも増えました。ミニイベントも出来るそうです。

そして、目に入るのが正面の壁に映し出されるプロジェクターの映像。長年にわたって市民の目を楽しませてくれた「オナガドリ」のレリーフが撤去されたことは残念ですが、これからは地域の情報やイベントなどを、皆さんにお届けする有効な場所になるでしょう。

各課の案内板の表示は目的別に色分けされていて、文字も大きくなり大変見やすく、わかりやすくなりました。

庁舎正面に向かって右から、「非核平和宣言のまち南国市」の標柱、市民憲章定礎、「南国市庁」の堂々たる青石を、さつきが形よくとり囲んでいます。入口北側には多目的トイレがあり、そこは休日也可以使用ができます。また、庁舎内にあったATMが屋外に出して使えやすくなっています。掲示板は南に移りました。庁舎には、正面からと南北から入れるようになっています。

